

シリーズ「きょうだいの思い」40

恋愛
～弟の説明と紹介～



自分の過去を綴ってきた途中で、きょうだいのテーマを6回続けてきた。私の恋愛や結婚の話は恥ずかしさもあって避けたいのが本心だが、とうとうその順になってしまった。この紙面を読んでくださっている人の大多数は『お母さん』で、私のようなきょうだいの恋愛や結婚話に少し関心はあるかな…と、自分で自分を納得させている(笑)

20代半ばの頃、同僚の人と恋愛をした。一般企業で働く私は、弟の事や障がい者云々の世界と、日々の職場の世界を分けていた。このシリーズ21『パートのおばちゃん①』の文末にもあるように、私は自然とどこかで線引きしている。

10代の頃の恋愛は、出会った場所が“そういう場所”だったのと、高槻で義務教育を受けてきた相手だったので、障がい者や弟の事を説明する必要がないフラットなものだった。でもこの恋愛の彼は地方の田舎で育った生い立ちから、イメージする障がい者といえばテレビ画面に映る身体障がいだったり視覚や聴覚障がいなのだろうと思った。

「学校で知的障がいを持つ同級生はおらんかったやろう？」と聞いてみると「おらん。近所にもおらんかった」との返事だった。交際する以前から親しかった彼には弟の事を話していたが「自閉症」と障がい名を言ってもワカルはずがない。「障がい名だけ聞くと“自分を閉ざしてる”とかイメージすると思うけど、そうじゃないねん」と、自閉症を説明した。後に交際が始まって、弟を紹介することを彼がOKしてくれたので、デートの時に(このような言葉を使うのは恥ずかしい限りだが)弟を連れ出す計画をした。

「お姉ちゃんの友達の車に乗ってローソンへお菓子を買いに行こう。〇〇は好きなお菓子を買って、また車に乗って家に帰る。お姉ちゃんは〇〇とバイバイしたら友達と遊びに行く」と説明をしたら、お菓子を釣られて？弟はスンなりと受け入れた。

待ち合わせ場所にしていたバス停に、彼の車が停まっていた。私も少しドキドキしていたが、車に近づくにつれて弟は両手で耳を塞いだ。弟が耳を塞ぐのは何かを感じている時なので、私の緊張が伝わったのも理由の一つだろう。弟は、当たり前のように堂々と助手席に乗った(笑)。助手席しか乗らないことを彼に説明しながら、私は後部座席から身を乗り出すように2人の間に顔を出した。弟は、塞いでいた両手を耳から離していた。

つづく。

まえほ
穂通信
つうしん

発行日	2016年2月1日
発行元	自立センター前穂 〒569-1022 高槻市日吉台 1番町21-18 072-689-8600



！ ノロウイルス・インフルエンザ等 感染症の予防対策

これからもまだまだ寒さが続くと思われます。インフルエンザや、ノロウイルスによる感染症が流行しており、前穂でも感染予防には大変な努力を払っております。現在もアルコール消毒や、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒を行っておりますが、新たな消毒剤として、次亜塩素酸水【品名:プログレスウォーター ※ノロウイルス、インフルエンザ他ウイルスを除菌】を導入し、更に予防に努めて参ります。

ご家庭でもご苦労されていることとは存じますが、ご利用前には今ひとたび、ご本人の体調管理にご留意頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。

知的ガイドヘルパー養成講座開催のお知らせ

人材の養成及び、障がい(児)者の社会参加促進の一環として知的障害(児)者移動支援従業者養成研修の定期的な実施に取り組んでおります。今回は3月14日(月)、22日(火)の予定です。2日間の研修での資格取得となり、お知り合いなど、ご興味をお持ちの方、ご一報お待ちしております。